
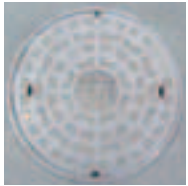
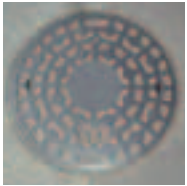
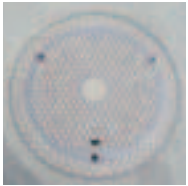

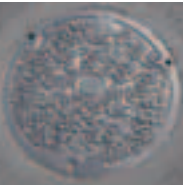
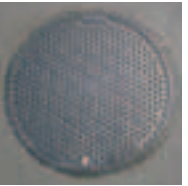






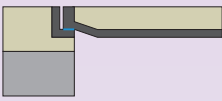
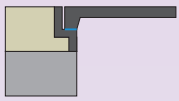


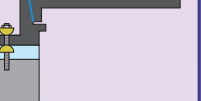
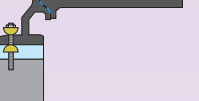


マンホールふたの進化

設置される周辺環境の変化と時代のニーズに応じ、「材質」「構造」「機能」及び「耐荷重性能」が進化してきました。

		TYPE 1	TYPE 2	TYPE 3	TYPE 4	TYPE 5	TYPE 6	TYPE 7
ふた表								
ふた裏								
推定設置年 ※注1		～昭和40年代	～昭和50年代	昭和51年～昭和53年	昭和54年～昭和60年	昭和61年～平成5年	平成6年～平成19年	平成20年～現在
材質	ふた	コンクリート	FC	FCD	FCD	FCD	FCD	FCD
	受枠	FC	FC	FCD	FCD	FCD	FCD	FCD
支持構造		 平受	 平受	 緩勾配受	 急勾配受	 急勾配受	 急勾配受	 RV
MHとの緊結状況		ボルト緊結なし	ボルト緊結なし	ボルト緊結なし	ボルト緊結なし	ボルト緊結	ボルト緊結	ボルト緊結
安全性能項目 ※注2	がたつき	×	×	×	△	○	○	◎
	破損	×	△	○	○	○	○	◎
	浮上・飛散	×	×	×	×	□	△	○
	不法投棄浸入	×	×	×	×	□	○	○
	転落・落下	×	×	×	×	□	□	□
	雨水流入	×	×	×	×	×	△	○
	スリップ	△	×	×	×	×	□	◎
腐食	×	×	×	×	×	□	□	

注1:推定設置年は、推定での記載。 注2:安全性能項目は、知見による判定 [◎:性能として十分 ○:性能として十分(初期のみ) △:性能として不十分 □:同一タイプにて対応可能 ×:性能なし]